

# 道

2023・8・30

通信 No 1747



キバナノオダマキ

今日の練習曲 6時半～8時45分 (岡野中学) 清水・二宮先生

バイカル湖のほとり (歌集2集42P) 山のロザリア (プリント) 広きドニエプルの嵐 (プリント)

次週9月6日(水) 6時半～8時45分 岡野中学 清水・小坂先生

バイカル湖のほとり (歌集2集42P) 山のロザリア (プリント) 広きドニエプルの嵐 (プリント)

## 《シベリウス 交響詩「フィンランディア」を聴く》

最近ある会合で表記「フィンランディア」を一緒に聞く会がありました。

この曲についてご存じの方もたくさんいらっしゃると思いますし、この曲の後半部分を合唱曲にしたのを歌った方もおられるかもしれません。

曲名の「フィンランディア」とは作曲者自身の生活と心の故郷フィンランドのことで美しい祖国の自然に対する讃歌として、シベリウスはこの曲を1899年書きました。しかしこの曲は単なる自然描写の曲ではありません。

この作品が書かれた当時はロシアの支配下にあったフィンランドの危機の時代でもあり、この曲は圧倒的な迫力をもって全国民の愛国心をあおりたてました。

それ以来「フィンランディア」はいわばフィンランドの国家ともいべき地位を占めましたが、一方政治的苦難の時代にあっては、演奏を禁止されるという憂き目にあっております。

それはちょうど現在のウクライナの苦難に通じるもので、私達はそのことを偲びつつこの曲を聴きたいと思いますし後年この曲の後半、民謡のメロディのような部分に歌詞がつけられた合唱曲(世界各国で歌われています)を歌いたいものです。

〈参考〉 ―歌詞和訳―元々は管弦楽のみの作品に、その後半のメロディに合唱の対訳が1941年つけられました。英訳もある

おお、スオミ(フィンランド国民)、あなたの日は近づいている  
夜の脅威は既に消え去り、そして輝いた朝にヒバリは歌う  
それはまるで天空の音楽のよう  
夜の支配に朝の光が既に勝ち、あなたの夜明けが来る、祖国よ

おお、立てスオミよ、高く上げよ、偉大な歴史の花で飾られた頭を  
おお、立てスオミよ、あなたは世界に示した  
支配(隷属)を追い出し  
弾圧に屈しなかった、朝がはじまる、祖国よ

(増田 やすし)

会議予定 運営委員会 9月6日(水) 14時半～ 県民サポートセンター